(#48821)

Pro.C SU-09 スピードコントローラー 取扱説明書

（2011/11/01）

この度は、タマゾーPro.C SUシリーズスピードコントローラー（以下、ESCと言います)をお買い上げいただきありがとうございます。Pro.C SUシリーズESCは1セルバッテリーからサーボや受信機に5Vの安定した電源を供給できるステップアップ方式のBEC(Battery Eliminator Circuit)を採用した超小型アンプです。最新の技術で設計、製造されたこのESCは、プログラミングしなくてもそのまま使用することが出来るきわめてシンプルな取り扱いが特長です。

規格表

品　名	Pro.C　SU−09
適合モーター	ブラシレスモーター
適応バッテリー数	リポ１セル(3.7V)
最大入力電圧	4.20V
最大電流	9A
BEC形式	ステップアップ方式
BEC出力	5V　0.5A連続
使用可能サーボ数	アナログ小型2個まで
コントロールパルス	1500±500μ/秒
寸法（コードは除く）	24x15.5x5.5mm(注)
重量	6g

(注)シュリンク仕上げのためサイズはばらつきがあります。

1．使用の準備

(1.1) プロポの設定について：
・(重要)モーターの回転を制御する送信機チャンネルの動作巾(ATV)は100%に、サブトリムはニュートラルにしておいて下さい。
・動作巾が適正でない場合は連続アラーム音(2.3項参照)が出ますので再度ATVの値をチェックしてください。
・フタバの送信機を使用する場合には、スロットルが逆になります。送信機側でスロットルをリバースにしておいて下さい。

(1.2) 機体への搭載について
・機体への搭載位置は冷却を考えて決めてください。出来るだけスムースにESCの周囲を冷却空気が流れる様にしてください。・
・放熱の妨げになりますので、ESCをスポンジなどですっぽり包んではいけません。
・ESCのカタログ表示性能は完全な冷却条件のもとでの性能です。機体の中など冷却条件の悪い環境ではカタログ表示以下の電流でも部品が過熱し破損するおそれがあります。

(1.3) 電源バッテリーの接続について
・このESCは電源バッテリーを接続するだけで、モーターや受信機に電気が流れます。モーターの暴走を防ぐためバッテリーを接続する時は先に送信機のスイッチを入れ、運転終了後は先にバッテリーを外してから送信機のスイッチを切るようにしてください。
・運転終了後はすぐにバッテリーを取り外してください。バッテリーをESCに接続している間はモーターを回さなくても受信機とサーボに電流が流れ続け、そのまま放置するとリポバッテリーが過放電となり、二度と使えなくなります

2．ビープ音について

(2.1) ビープ音はESCの状態を表す音で、モーターを振動させて鳴らします。モーターが接続されていない場合にはビープ音は鳴りません。
(2.2) ピロピロピ：モーター運転準備完了⇒スロットルを上げるといつでもモーターが回ります。スロットルの扱いに注意してください。
(2.3) ピ、ピ、ピ、ピ、ピ（５回）・・・・繰り返し：スロットルが最スローの位置にない場合や動作角が充分でない場合です。スロットルレバー位置やATV、サブトリムなどをチェックしてください。

３. 使用上の注意･･･運転の前に必ずお読み下さい

(3.1) 重要：初飛行前やプロペラなどを変えた時は、ESCに流れる電流と発熱温度を確認してください。もし運転中に流れる電流がESCやモーター、リポの規格値以上に流れたり、ESCが異常に熱くなればただちに運転を停止してください。異常状態のまま運転を続けるとESCやモーターの故障、リポバッテリーの異常につながります。

(3.2) 禁止：ESCに１セル以上のリポバッテリーを接続しないこと･･･過電圧のためESCが壊れます。絶対にしないでください。

(3.3) 禁止：バッテリーのプラスとマイナスを逆接しないこと･･･ESCが壊れます。絶対にしないでください。

(3.4) 禁止：モーターの回転中にESCのスイッチを切ったり、バッテリーをはずさないこと･･･ESCが壊れます。絶対にしないでください。

(3.5) 禁止：プロペラなどを付けない状態でフル回転で運転してはいけません･･･ESCが壊れます。絶対にしないでください。

(3.6) 禁止：飛行せずに地上で長時間運転してはいけません･･･冷却空気の流れが悪くなりESCが過熱、故障するほか、モーター、受信機、サーボなどが故障する場合があります。

(3.7) 禁止： BECに0.5A以上の負荷をかけないこと･･･ESCが壊れます。接続するサーボの数や消費電流に注意。

(3.8) 禁止：分解しないこと･･･ESCが壊れる恐れがあります。

(3.9) 禁止：水などに濡らさないこと･･･ESCが壊れます。絶対にしないでください。

(3.10) 注意：回っているプロペラに物を投げ込んだり、指などを入れないこと･･･危険です。ケガなど重大な事故の恐れがあります。

(3.11) 注意：回っているプロペラの周りに近づいたり、他人を近づけないこと･･･危険です。ケガなど重大な事故の恐れがあります。

４. 運転方法

※安全のため、メカの積み込み、動作確認を行う場合はプロペラを外しておいて下さい。また、試運転時間は必要最小限にして下さい

(4.1) ESCにモーターを接続し、ESCのサーボコネクターを受信機に接続します。

(4.2) 送信機のスイッチを入れます。

(4.3) スロットルスティックを最スローにします････FUTABAの場合は前もってREVにしておきます）。

(4.4) ESCに満充電にした電源バッテリーを接続します。

(4.5) すぐにピロピロピと鳴ります。

・（異常１）全く音が鳴らない･･･モーターを接続してありますか（2.1項参照）

・（異常２） ピ、ピ、ピ、ピ、ピ（５回）････と繰り返して鳴り続ける(2.3項参照）

(4.6) スロットルスティックをハイにするとモーターが回ります。

(4.7) モーターが逆転する場合は、コネクタを裏返して接続し直しすことでモーターの回転方向を逆に出来ます。

(4.8) 飛行が終わればバッテリーを外してから送信機のスイッチを切ります。

５. 保障及び免責事項について：

初期不良のみ補償の対象となります。購入より７日以内に弊社までご連絡ください。メールまたはFAXでOKです。たとえ７日以内であっても飛行後の問題は初期不良扱いにはなりません。有償修理の対象となります。

なお、本製品を使用した模型等によって生じた事故および不利益、損害についての一切の責任は使用者にあり、メーカー及び販売会社等が責任を持つものではありません。

６. 修理について：

(6.1) 本製品は、輸入品のため修理には時間を必要とします。２ヶ月から６ヶ月の期間をみてください。

(6.2) 改造や当社以外での修理を行われた商品の修理はお受けできません。

(6.3) 修理が必要な場合は、①故障した商品②故障内容と「修理希望」と記入したメモ③修理代金1800円（税、送料込）相当額の切手を同封のうえ、送料元払いで弊社までお送りください（当社までの送料はお客様のご負担となります）

(6.4) 修理代金が同封されていない場合には、修理は行われません。

(6.5) 修理代金は変動する場合があります。また、パーツの供給停止などの事情により修理サービスを打ち切らせていただく場合があります。

輸入販売元：株式会社ＯＫ模型
〒577-0808　東大阪市横沼町３－３－１１
Tel:06-6725-2031 Fax:06-6725-2034
http://www.okmodel.co.jp